

## 留学体験レポート

今回の留学では、毎日充実した日々を送ることができたので、印象に残っていることは多い。

まずは授業についてだ。授業は、ロシアに到着後に受けたテストの結果によって分けられたクラスで受ける。グループ1は日本人2人で、全員で9人のクラスだった。最初の一か月は韓国人学生との学力レベルの差があるため、授業についていくのが大変だった。毎日大量に出る課題にもかなり時間がかかり、苦勞したことを覚えている。自分なりに辞書や教科書を読みこんで理解したり、韓国人学生に聞いたりして少しずつ力をつけていくことができた。授業では、間違えた発言をしても嫌な雰囲気になることはなく、自分の考えたことを堂々と発言できた。韓国人学生は、分からないことがあった時にはサポートしてくれたり、ペアワークでは積極的に引っ張ってくれてクラスメイトにとっても恵まれていたと思う。自分のロシア語の力を伸ばすことができたのも韓国人学生の協力があってからだと考える。この四か月間授業を受けてみて必要だと感じたことは、分からないことは分からないとはっきり言うことと、間違えても積極的に発言して授業に参加することだ。この二つを意識していれば授業にはついていけると思う。

次に毎日の生活について。寮では、家具が壊れていたり、電磁調理器が機能しないなどのトラブルもあったが、すぐに管理人が対応してくれた。部屋の不備は早いうちに申し出たほうが良い。寮に入る初日の点検で家具が壊れていることもあるので、その際はすぐに直してもらわないと後で弁償することになる場合がある。自炊は寮の部屋にあるキッチンで行った。スーパーが近く、買い物もしやすかった。毎日簡単な料理を作って生活していたので、料理が苦手な人でも大丈夫だと思う。洗濯ものは、洗濯部屋に持っていくと、約160円で早ければその日のうちに洗濯したものを受け取ることができる。しかし色落ちや縮むことも多く、服も傷みやすいので持っていく服には注意が必要である。

休日は、自分たちで行きたいところを調べて出かけることが多かった。美術館や博物館にも行き、本屋や薬局などは品数も豊富で飽きなかった。毎回昼食をとり、しばらく街中を散歩した後にカフェに行くことが多かった。カフェは内装やケーキの種類がどの店も異なっているのがおもしろかったので、カフェ巡りは毎週行っていた。しかし、留学中に遭難しそうになるというハプニングがあった。ルースキー島にある水族館に行ったのだが、その日はウラジオストクに来てはじめて雪が降った日だった。突然の雪でバスもタクシーも来ず、数時間歩き続けた後に優しいロシア人に車に乗せてもらい、無事寮に帰ることができた。大変な思いをしたので雪の日はなるべく外出を控えることをお勧めする。

慣れない生活は大変だと思ったが、規則正しい生活のおかげで勉強も遊びも充実させることができた。今考えると規則正しい生活が、留学を有意義なものにする鍵であったと思う。